

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)初芝駅前医療ビル 新築工事	階数	地上2階
建設地	大阪府堺市東区日置荘西町四丁94	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域	平均居住人員	271人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2023年1月25日
敷地面積	2,141㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社 流通
建築面積	1,083㎡	確認日	2023年1月25日
延床面積	2,083㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社 流通一級建築士事務所 笹木 徹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	補修必要間隔の長い外壁仕上げ材、更新必要間隔の長い空調・給排水配管を使用し、耐用年数の長い建物になっている。また、分別しやすく取り外ししやすいつくりになっているため、解体時にはリサイクルを促進する対策も取られている。	その他
Q1 室内環境	内装材は全てF☆☆☆☆を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さの配慮や、緑地の配置によって、周辺のまちなみや風景にバランス良く調和させている。
LR1 エネルギー	BPIm : 0.71	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。
Q2 サービス性能	補修必要間隔の長い、外壁仕上げ材・配管を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能なうえ、テナント部はスケルトンのため内装材と設備が錯綜しておらず容易に取り外すことができる。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)初芝駅前医療ビル 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市東区日置荘西町四丁942番3、943番9及び943番10	1	B+
	主用途/延床面積	事務所 / 2,083.27 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
エネルギー削減	3	● ● ● ● ●
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.3	3	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		2.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値		3.0
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.6	3	
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5	
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3	
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値		4.0
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	